

実行プラン検討表について

平成 2 2 年度作成したもの

変更

平成 2 6 年度第 3 回自治会議で変更, 決定したもの

目標と方策

目標 1 (地域農業を拡大させる

方策 1 : 地域農産物を活かした特産化やブランド化の推進

方策 2 : 観光農園や体験農園の充実・強化と観光まちづくりとの連携

目標 2 (雇用を創出する

方策 3 : 農業法人の設立と農業の 6 次産業化

方策 4 : 地域資源を活かした観光振興

方策 5 : スマート I C 周辺を中心とした産業の開発・誘致

目標 3 (交通網の整備を進める

方策 6 : 道路整備の推進

方策 7 : 公共交通の充実

目標と方策

目標 1 (生産性の高い魅力ある農業が展開されている地域

方策 1 : 地域農産物を活かした農業の充実

方策 2 : 観光農園などの充実と観光のまちづくりとの連携

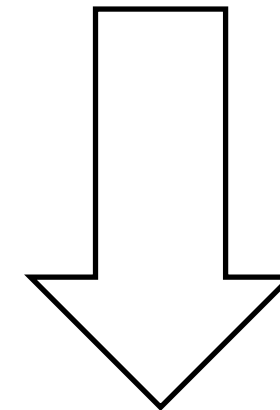
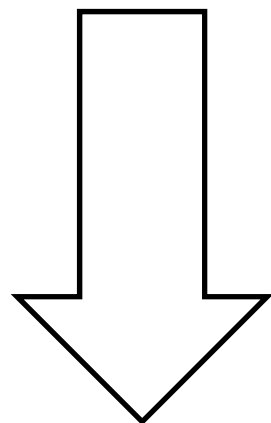
目標 2 (資源を活かした交流事業の盛んな地域

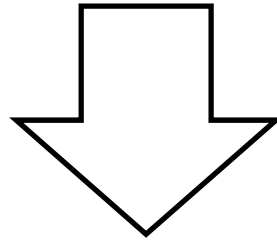
方策 3 : 地域資源を活かした観光の推進

目標 3 (人にやさしい交通網が整っている地域

方策 4 : 道路整備の推進

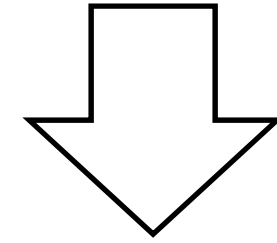
方策 5 : 地域内交通の利用促進





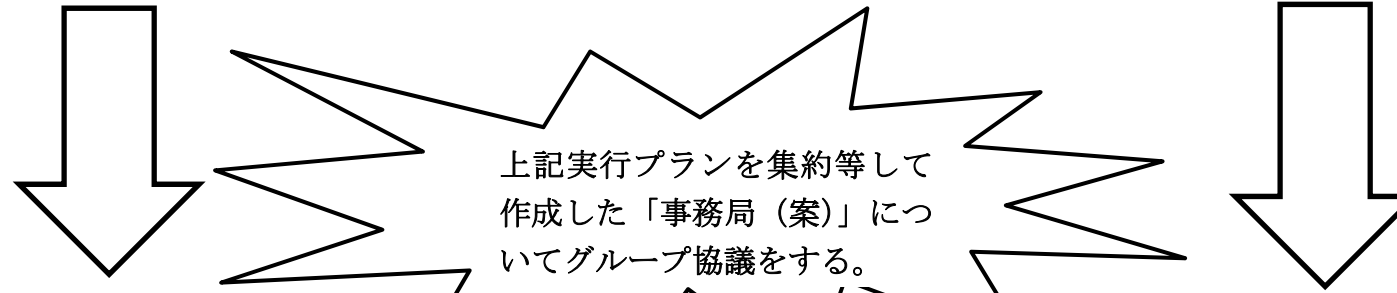
平成22年度作成 実行プラン

方 策	取 り 組 み	内 容	3年後までに	5年後までに	10年後までに
【旧方策1】 地域農産物を活かした特産化やブランド化の推進	①ゆずやいちごを利用した特産品の開発 ②特産品のブランド化 ③生産・加工・販売までの6次産業化	ゆずやいちごを利用・加工し、付加価値の高い商品開発をめざすとともに、商品のネーミング等にも力を入れ、地域ブランド化を図ることで商品や地域の知名度を向上させる。また、インターネットや直売所等による販路開拓を通じ、流通コストを削減させることも必要である。	・地域農産物のブランド戦略・推進体制の確立 ・付加価値の高い特産品の開発 ・特産品のブランド化	・インターネット販売等による販路拡大	・消費者ニーズに対応したブランド品の管理



平成26年度第3回協議内容

方 策	取 り 組 み	内 容	3年後までに	5年後までに	10年後までに
【第3回 自治会議協議 内容】	・担い手の育成		・農業魅力の発信 ・就労希望者の募集 ・勉強会（農業体験）などの実施		
	・特産品のブランド化		・ブランド化するための農産物の選定 ・ブランド品の開発 ・直売場等での販売	・販路拡大（インターネット等）	・農村レストラン



方 策	具体的な取り組み	内 容	手 法 ・ スケジュール		
			3年後までに	5年後までに	10年後までに
【事務局：案】	・ ○○○○○○	△△△△△△△△ △△△△△△△△ △△△△△△△△ 追加	・ ○○○○○○○○ ××× 訂正 ・ ○○○○○○	・ ○○○○○○○○ ・ △△△△△△△ 追加	・ ○○○○○○○○ 削除 ・ ○○○○○○
	・ ○○○○○○	△△△△△△△△ △△△△△△△△ △△△△△△△△ △△△ 追加	・ ○○○○○○○○○○ ・ △△△△△△△△ 追加	・ ○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ 削除	・ ○○○○○○○○ ○○○
	・ △△△△△△△ 新規	△△△△△△△△ △△△△△△	・ △△△△△△△△	・ △△△△△△	